

第14回練馬光が丘病院運営連絡協議会議事録

| | | |
|-----|---------------------------|---|
| 日時 | 令和元年5月21日（火）13時00分~14時00分 | |
| 場所 | 練馬光が丘病院 地下1階大会議室 | |
| 出席者 | 区民代表 | 岩橋委員、古賀委員、関委員、高橋委員 |
| | 区議会議員 | 藤井議員、斉藤議員、島田議員 |
| | 医療関係者 | 本多練馬区医師会副会長、市川練馬区歯科医師会会長、関口練馬区薬剤師会会長 |
| | 学識経験者 | 上野委員、今井委員 |
| | 区職員 | 佐古田練馬区地域医療担当部長、枚田練馬区地域医療課課長 |
| | 練馬光が丘病院 オブザーバー | 光定管理者兼病院長、吉田副管理者、大村事務部長 |
| | 練馬区 | 村野練馬区地域医療課係長、伊藤練馬区地域医療課員 |
| | 練馬光が丘病院 | 安達副病院長、藤岡副病院長、牧田副病院長、大城看護部長、高瀬事務次長、山口総務課長、藤野医事課長兼地域連携相談センター室長 |

1. 開会

2. 管理者挨拶

3. 運営状況について

①利用状況、重点医療について

内容説明 別紙資料1～7参照（藤野医事課長兼地域連携相談センター室長）

別紙資料8参照（枚田練馬区地域医療課課長）

②地域活動

内容説明

別紙資料9～10参照（藤野医事課長兼地域連携相談センター室長）

③新病院改築計画概要について（高瀬事務部次長）

内容説明

4. 質疑応答

古賀委員

資料1 入院患者数が前年比減少していることに関して
平均在院日数の減少によるものかどうかについて

光定管理者兼病院長

入院患者数が前年比減少しているのは医師の退職が相次いだ時期に入院患者数が減少したことによるものです。

| | |
|-------------------|--|
| 古賀委員 光定管理者兼病院長 | 資料5 紹介患者数の内容について 紹介患者の割合について、順天堂大学医学部附属練馬病院からの紹介が多数を占める。 |
| 古賀委員 光定管理者兼病院長 | 資料6 救急車搬送患者数のうち入院数について 救急車受け入れ台数 月/620~630台 内、入院数 月/200人 となっている。 なお、都内D P C病院Ⅲ郡（大病院除く）の中で全体の5~6位に入る水準である。 |
| 古賀委員 光定管理者兼病院長 | 倫理委員会の位置付けについて 倫理委員会について、毎月開催、若しくは案件等が上がってきた時点で開催することになっている。なお、人工透析の中止については腎臓内科より光定管理者兼病院長の方に案件が上がってきて倫理委員会に諮った上で決定をする。 |
| 藤井議員 | 新病院病床数115床増床となることに関して、当初からの予定通りの増床数かどうか。 |
| 高瀬事務次長 | 当初からの予定通りの増床数です。 |
| 藤井議員 | 新病院建設予定地にかかる解体工事に関する進捗状況について |
| 枚田地域医療課課長 | 本年7月より解体工事に着手し、翌年3月末までかかる予定となっている。 |
| 島田議員 | 新病院病床数に関して N I C Uの新設については考えていないのでしょうか。 |
| 光定管理者兼病院長 | 内科病棟及び感染症対応にかかる個室の拡充等の観点からN I C Uを新設してまで対応することは考えていない。 |
| 岩橋委員 | 新病院にかかるリハビリ病床の拡充について |
| 光定管理者兼病院長 | 新病院にかかる回復期リハビリ病床50床を計画している。 |
| 岩橋委員 | (歯科) 口腔外科の拡充について |
| 光定管理者兼病院長 | 新病院にかかる(歯科)口腔外科の拡充について、形成外科の常勤医を確保して(歯科)口腔外科との連携を図っていききたい。 |
| 市川練馬区歯科医師会会長 | 練馬区内では(歯科)口腔外科を標榜している医療機関はないということもあり(歯科)口腔外科を拡充いただき医科歯科の連携を図っていききたい。 |

高橋委員 新病院にかかる出入口確保の件について

光定管理者兼病院長 新病院にかかる出入口確保の件について、重要な案件でもあり検討中である。練馬区及び地域住民等の意見を参考にしつつ対応していきたい。

高橋委員 新病院にかかる建設について基本設計から実施設計に入ってきており重要な段階に入ってきている。再度設計のやり直しをすることがないように、しっかりとしたものを作り上げてもらいたい。

関口練馬区薬剤師会会長 新病院にかかる敷地内薬局の構想について

高瀬事務次長 現状、考えておりません。

本多練馬区医師会副会長 新病院にかかるみどりバスの利便性について

枚田練馬区地域医療課課長 現状、3ルートを確認しておりますが、新病院開設後においても引き続き3ルートを確認していきたい。